|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | 令和６年２月１５日（木）　１３時３０分～１５時００分 | |
| 場所 | エコプラザあかいわ　３階　大会議室 | |
| 次第 | １　開会  ２　市長あいさつ  ３　会長あいさつ  ４　議　事  　（１）令和５年度　男女共同参画事業報告について  　（２）令和６年度　男女共同参画事業計画について  （３）赤磐市パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓の取扱いに関する要綱（案）について  ５　その他  ６　閉会 | |
| 出席者 | 委員 | 秋川 陽一、井上　和也、熊谷　靖子、森田　尚希、黒澤　陽子、  金谷　征正、小田　礼子、實盛　保子、山本　雅堂（９名） |
| 赤磐市 | 市民生活部長、協働推進課長、事務局２名 |
| ●赤磐市男女共同参画推進条例施行規則第６条第２項の規定により、半数以上の参加があるため、会議成立。  ●署名委員の選任　小田委員、實盛委員  ■議事内容  （１）令和５年度　男女共同参画事業報告について事務局から説明を行った。  委員から特に意見はなかった。  （２）令和６年度　男女共同参画事業計画について  事務局から説明を行い、委員から以下の意見があった。  　・LGBTの理解については、大人より子どもの方が進んでいるので、大人に向けての啓発をしていく必要があると思う。当事者の生の声を聞ける機会をつくるなどして、セミナーの実施を検討してほしい。  　・防災についてのセミナーは、くらし安全課の行うものとはすみ分けをして、男女共同参画の視点からのセミナーであることをしっかり打ち出してもらいたい。  　・セミナーは、講義形式ばかりではなく、ワークショップ形式など工夫したものにしてほしい。  （３）赤磐市パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓の取扱いに関する要綱（案）について  　事務局から説明を行い、委員から以下の意見があった。  ・申請要件の住所地の要件を双方ではなく、片方のみでもできるようにしてもらいたい。  ・ファミリーシップ宣誓をしたら、そのパートナーの両方が子どもの「保護者」として取り扱えるようにできないか。  ・いろいろと問題が発生するかもしれないが、とりあえずスタートしてみて、その都度、柔軟に対応し、当事者の不利益にならないようにしていってもらいたい。 | | |